

向東小 学校だより

No. 11

尾道市立向東小学校
平成30年2月28日(水)
発行責任者 石原政信

危険を察知し、未然に防ぐ

2月26日(月)5校時に、不審者に対応するための避難訓練を実施しました。職員玄関から不審者が侵入してきた場合の職員の対応、児童の誘導等について、訓練を実施しました。不審者の動きを封じた時点で、児童を運動場に避難させ、この訓練の様子を観察して頂いた尾道警察署の方々から体育館で講話を受けました。その際、児童に対して、5つの原則と「いかのおすし」の約束についてお話されました。



- 1 不審者には近づかない
- 2 大声で近くの人に助けを求める
- 3 一人で遊びに行かない
- 4 家族に帰る時刻を約束して外出する
- 5 見た目だけでは不審者だとはわからない

- いかのおすし
- 知らない人について行かない
 - 乗らない
 - 大声で叫ぶ
 - すぐにはげる
 - 知らせる

警察の方からは、「誰もが入りやすい場所」や「誰からも見えにくい場所」が危険であることを踏まえ、各家庭で、危険な場所について、子どもと話す機会をもっといただきたいこと、また、子どもと確認をしておいてもらいたいこととして、次の2点について、お話されました。

お願い

- ① 我が家の車以外で乗ってもよい車を限定しておくこと
- ②何かあったときに、頼める人は誰かを子どもに伝えておくこと。

ぜひ、各家庭で確認をお願いします。向東地区にも、不審者の情報が多々あります。警察の方々も毎日パトロールをしてくださっています。児童には、自分で危険を察知する能力を身に付け、未然に危険を回避するような行動ができるようになってもらいたいと思います。保護者の方々も危機意識をもって児童と話をいただければ幸いです。

「夢」は今、君の手の手の中にある



第4学年の児童が、「二分の一成人式」を挙行了しました。

体育館では、児童を代表して、今村君が大工になる夢を、宮本さんが看護師になる夢を語ってくれました。「何かの職業に就きたい」や「何か実現したいことがある」という状況は「達成動機づけ」が働いている状態であると言います。何かを実現したいという思いや願いをもっている人は多少の困難でも克服して進んでいきます。途中迷っても、目指す目標があれば、どんなルートを辿っても、ゴールに近づこうとします。そうした意味でも小さな頃から職業に対する憧れを持つことは、児童の発達に有効に働きます。途中で変わっても良いのです。未来を描くこと、それが成長のエネルギーになるのです。

